

(7) *cin*
To

R 5 9 2 2 4 3
~~R 5 9 2 2 4 3~~
Chi 13 July

戰鬪詳報報告一件 昭和十九年十月十日

第三大隊長 尾内大尉

宇土部隊長 殿

標記、件別紙、通報告又

東京小澤部

第天隊 安和附近ニ於ケル戰鬪詳報

昭和十九年十月十日

戰鬪前ニ於ケル我々之形勢ノ概要

- 一、大隊ハ宇作命第五五號ニ基キ十月五日主力ヲ以テ安和ニ一部ヲ以テ屋名座ニ移駐シ迄期作戰ヲ準備中陣地ノ偵察及防空設備ノ完壁ヲ計リソ、アリ
 - 二、宇作命第五七號ニ依リ敵機動部隊西南南諸島ニ近接シタルヲ知り海上監視及對空監視ヲ嚴シシ
 - 三、伊陸主義ヲ以テ對空射撃ヲ遺感ナカラシメアリ
 - 三、第三機関銃中隊 吉富ヲ尉ノ指揮スルニ個分隊ヲ安和北方及東南側高地ニ配置シ對空射撃ニ遺感ナカラシメアリ
- 十月十日。七二〇。頃對空監視哨及海上監視ヨリノ報告ニ依リ敵飛行機ト數機我々攻撃シタルヲ知り大隊ハ直ニ退避セシムルト共ニ對空射撃部隊ニ射撃ヲ準備シ敵機

ノ攻撃準備

四 對空射撃ノ限度ハ距離ニ依リ三〇米以内トセシム

戰闘經過ノ概要

一 敵ハ制空權ヲ獲保シ安和名護運天後久
 地ノ上空ヲ飛翔シ爆撃及銃撃ヲナス。ハ。頃
 敵ハ我ト空ニ於テ對地機上掃射ヲシ急降
 下ニシ三〇〇米附近ニ接近シテ此ノ機上
 スハカラス各分隊ハ一斉ニ射撃ヲ開始シ敵機
 ヲ撃退ス。 治テ第一ニ次空襲ニ依リ。九五〇
 頃雨止飛来セシヲ以テ續イテ射撃ヲナシ敵機ヲ
 撃退セリ

戰闘ニ影響ヲ及ホセシ氣象地形
及住民地ノ状態

一 氣象

當日ハ快晴ニシテ本島在来ノ風モ無ク航空機ニ對スル
影響ナク絶好ノ飛行日和ナリ

二 地形及住民地ノ状態

安和北方ニハ八重岳 嘉津宇岳 及 以上ノ高地重
疊シアルヲ 安和ハ海岸線附近ニ在リ機上攻撃

ニ容易ナル地形ナリ

彼我兵力、交戦セシ敵ノ團隊號將師ノ氏名

編成裝備ノ素質戦法

一 我

吉富ヲ射、指揮スル重機ニ分隊

二 彼

海上機動部隊ニ依リ艦上機近約二〇機ヲ以テ
 〇七三〇ヨリ一四三〇ニ至リ四回約七時間ニ及ビ
 五機以内又ハ十數機ヲ以テ我ト空ニ飛来シ

要地ニ對シテ深撃ヲ其他ノ地ニシテ銃撃ヲ以テ
 地上攻撃ヲナス
 戦闘後ニ於ケル我形勢ノ概要
 一 西ヨリ敵機ハ攻撃ヲ中止シ東方ニ遁走セリ
 二 敵機ノ遁走ニ依リ陣地附近ニ集合シ人員ノ
 兵糧兵器彈藥ノ調査ヲナシ
 三 本對空戦闘ニ依リ陣地ノ不備ノ修正並ニ
 將來ニ對スル教育ヲナス
 註語 過失其他 將來ノ參考トナルヘキ事項
 一 對空射撃ハ機圍銃以下ニ於テハ近距離ニ於テ
 或可高地上ニ位置シ待撃射撃ヲ可トス
 本戦闘ニ要セシ射耗彈數
 一 重機関銃室包 二三四發

戦闘詳報

十月十六日

第七中隊

1. 戦果

機圍銃	九	一	二	三	五	計	痛	要
撃墜	ナシ							
大破	ナシ							
中破	ナシ							

2. 射耗彈 一 ナシ 殘彈及補給ヲ要スヘキ彈藥 ナシ
 3. 損害 ナシ

イ人 戦死ナシ 重傷ナシ 軽傷ナシ
 ロ馬 戦死ナシ
 ハ糧秣 焼失 ナシ
 ニ陣地
 ホ宿舎

第一歩兵隊 第三万隊
第八甲隊

1. 戦果	種類	七	九	九	二	二	三	三	一	五	計
	撃	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	
	大	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	
	中	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	
	破	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	
	破	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	
2. 射撃	ナシ										
3. 損害	1. 人員戦死ナシ。重傷ナシ。軽傷ナシ。 2. 口馬ナシ。 3. 糧秣ナシ。 4. 陣地ナシ。 5. 宿舎ナシ。										

戦果及損害調査件報告
鈴木隊

戦果及損害報告

昭和十九年十月十一日

石原隊

一	戦果	ナシ
二	射耗彈	ナシ 残弾及補給ヲ要スベキ彈藥ナシ
三	損害	
一	人員	戦死ナシ 重傷ナシ 軽傷ナシ
二	馬	ナシ
三	糧秣	焼失ナシ
四	陣地	被害ナシ
五	宿舎	被害ナシ

オホノ中隊

(第三MG中隊對空射擊部隊配備要圖)
(十月十日於安和)

